1. 豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 第26回シンポジウム開催報告

建築・都市システム学系 教授 渋澤 博幸・助教 崔 明姫

アフターコロナ時代では、持続可能な社会の実現に向けて、観光を通じた地域活性化や地域創生は重要な課題とされています。観光は、豊かな人生を送る活力をうみだし、様々な波及効果をもたらす総合産業です。未来ビークルシティリサーチセンターでは、2023年12月1日に、『アフターコロナ時代の観光と都市地域の未来』と題して、第26回目のシンポジウムを開催致しました。

コロナ禍の観光業の状況を踏まえ、観光地域づくりの第一線でご活躍中の方々にご講演をいただき、アフターコロナ時代の未来の観光、そして都市、地域、交通、産業のあり方について考えてみました。 観光分野でご活躍の3名の講師をお招きし、最新の取り組み状況や今後の展開などについて解説をいただきました。

本シンポジウムには、対面参加 32 名、オンライン参加 51 名の合計 83 名の参加があり、各講演終了後に行われた質疑応答では、対面と Zoom の参加者から様々な質問が寄せられました。アフターコロナ時代の観光地域における計画や戦略について講演者と参加者の間で活発な意見交換がなされ、シンポジウムは盛況のうちに終了いたしました。最後に本シンポジウム開催にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第26回未来ビークルシティリサーチセンターシンポジウム

日時: 2023年12月1日(金)13:30~16:25

場所:ハイブリット形式

(会場豊橋技術科学大学 A-114, オンライン配信 Zoom Webinar)

『アフターコロナ時代の観光と都市地域の未来』

【背景】

「コロナ禍における地域観光業の状況と政策効果について」 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教 崔 明姫 教授 渋澤 博幸

【講演1】

「観光立国基本計画と観光による地域づくり」 国土交通省中部運輸局観光部観光地域振興課 課長 伊藤 一智 氏

【講演2】

「ほの国東三河における観光ブランディング戦略」 一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター 愛知大学地域政策学部(観光まちづくり論)非常勤講師 田中 三文 氏

【講演3】

「南信州の観光地域づくり」 南信州観光公社 代表取締役社長 高橋 充 氏

【背景】



【講演1】



【講演2】



【講演3】





令和 5 年

日(金)

:ハイブリット形式 開催方法

(会場: 豊橋技術科学大学 A-114 講義室, 及びオンライン配信)

申し込み先:WEB 申込フォームによるお申込み

*以下のリンクもしくは2次元コードからお申し込みください。

https://www.tut.ac.jp/form/riti/rcfvc/26thsymposium.html

*対面は定員80名(先着順)

プログラム

13:30~13:35 【開会挨拶】

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

センター長 三浦 純

13:35~14:10 【趣旨・背景】

「コロナ禍における地域観光業の状況と政策効果について」

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系

教授 渋澤 博幸 助教崔 明姫

14:10~14:50 【講演 1】

「観光立国基本計画と観光による地域づくり」 国土交通省中部運輸局観光部観光地域振興課

課長 伊藤

14:50~15:00 【休憩】

15:00~15:40 【講演 2】

「ほの国東三河における観光ブランディング戦略」

一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー

マーケティングディレクター

愛知大学地域政策学部(観光まちづくり論)非常勤講師

田中 三文

15:40~16:20 【講演3】

「南信州の観光地域づくり」

南信州観光公社

代表取締役社長 高橋 充

16:20~16:25 【閉会挨拶】

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

副センター長 渋澤

そして都市 の状況を踏まえ、 アフター います。 П ナ時代では、 観光地域 豊かな人生を送る活力をうみだし、 づくりの第 産業のあり方について考えてみたいと思います。 持続可能: な社会の実現に向けて、 線でご活躍中の .々な波及効果をもたらす総合産業です。 観光を通じた地域活性化や地

ロナ禍の観光業

課題とされ

無料

参加費

■主催:豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンタ-

■問い合わせ先:研究推進課研究推進係





